

予算はどんなことに使われるの？

令和6年度一般会計予算の特徴と、身近なところではどんなことに使われるのかを解説します。

学校の設備やまちの脱炭素化にも使われるんだね。



令和6年度予算のポイントは？

1 子どもを生き育てやすく、子どもたちが安心して生活できるまちへ

中学生の通院費、住民税非課税のひとり親家庭の親の通院費等を医療助成の対象に追加

学校や保育施設等における冷房設備の整備を強化



身近なところでは、どんなことに使われるの？

子ども・子育て支援費

796 億円 | 市民一人あたり **4** 万円

・保育所、認定こども園などの運営、整備
・子育てサロン



ごみ処理費

464 億円 | 市民一人あたり **2** 万4千円

・ごみの収集、運搬
・清掃工場の管理・運営



除雪費

281 億円 | 市民一人あたり **1** 万4千円

・除排雪作業
・パートナーシップ排雪など



学校整備費

255 億円 | 市民一人あたり **1** 万3千円

・校舎の建て替えや改修



3 健康やかに暮らし、誰もがいきいきと自分らしく活躍できるまちへ

高齢者の健康寿命の延伸に向け、健康づくりや社会参加を後押しするための新たなポイント制度の実施に必要なアプリの開発等

市内各種施設のバリアフリー化を実施

※まちづくり戦略ビジョンにおいて、重要概念に位置づけています。
ウェルネス:誰もが生涯健康で、学び、自分らしく活躍できる社会。
ユニバーサル:誰もが互いに個人や能力を認め合う共生社会。



※ウェルネス(健康)ユニバーサル(共生)を広めていくなね

4 いつでも安全・安心に暮らせるまちへ

救急医療体制を安定的に確保し、市民がより速やかに適切な救急医療を受けられるよう医療機関等への補助を実施



ヒグマの市街地への侵入や、エゾシカ等による農業被害対策などを実施

5 市民生活を支えるための取り組み

人手不足の業界に対する支援や将来を見据えた人材確保対策を実施



野生の動物対策も重要よね。



その他に特別会計で、介護サービス1,745億円などが高齢者の暮らしを支えるために使われています。

消防費

203 億円 | 市民一人あたり **1** 万円

・災害時の消火活動、人命救助
・救急業務
・火災の予防に関する活動



高齢福祉費

131 億円 | 市民一人あたり **7** 千円

・高齢者への交通費助成
・老人福祉施設の運営・整備



公園関係費

105 億円 | 市民一人あたり **5** 千円

・公園の造成、再整備、維持・管理



観光関係費

24 億円 | 市民一人あたり **1** 千円

・さっぽろ雪まつり関連事業
・MICE関連事業(国際会議の招致など)
・海外からの観光客誘致

